

希学園 第398回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第398回公開テスト 小4算数 解説動画(2025年7月13日実施)	https://vimeo.com/1100915974/5c1d42a6fc

1

(1)	3 1 3 6	(2)	1 9 0 9	(3)	3 1 0	(4)	1 5 0 7 2
(5)	5 0 4 0	(6)	1 1 1 1	(7)	1 0	(8)	$\frac{49}{59}$
(9)	1 9 7 7 (kg)	(10)	㊲ 2 (L)	㊱ 8 4 4 (mL)	(11)	6 2 (cm)	
(12)	3 4 (日間)	(13)	1 0 (通り)	(10)完答)			

2

(1)	5	(2)	6 3	(3)	1 5
-----	---	-----	-----	-----	-----

3

(1)	4 . 5 度	(2)	2 . 7 度	(3)	1 0 . 8 度
-----	---------	-----	---------	-----	-----------

4

(1)	5 個	(2)	4 1 個	(3)	2 2 個
-----	-----	-----	-------	-----	-------

5

(1)	1 1 cm	(2)	3 0 cm	(3)	1 7 cm
-----	--------	-----	--------	-----	--------

(配点) 各4点×25

1

- (6) $2185 - \square - 417 = 657$
 $\square = 2185 - 417 - 657 = \underline{1111}$
- (7) $100 - \square - 1 - \square - 2 - \square = 67$
 $97 - \square - \square - \square = 67$
 $\square = (97 - 67) \div 3 = \underline{10}$
- (9) $24000 \text{ g} + \square \text{ kg} - 2 \text{ t} = 1 \text{ kg}$
 $\square \text{ kg} = 1 \text{ kg} + 2000 \text{ kg} - 24 \text{ kg} = \underline{1977} \text{ kg}$
- (10) $1 \text{ L} + 23 \text{ dL} - 456 \text{ mL}$
 $= 1 \text{ L} + 2 \text{ L } 300 \text{ mL} - 456 \text{ mL} = \underline{2 \text{ L } 844 \text{ mL}}$
- (11) のりしろは、 $6 - 1 = 5$ (か所) で、のりしろが正方形より、その横の長さは 2 cm 。
 $12 \times 6 - 2 \times 5 = \underline{62} \text{ (cm)}$
- (12) $8 \text{ 月 } 24 \text{ 日} = 7 \text{ 月 } 55 \text{ 日}$
 $55 - 22 + 1 = \underline{34} \text{ (日間)}$
- (13) ア = 1 のとき、イ + ウ = 7 となる $\square \times \square + \square = 7$ ので、考えられる組み合わせは、
 $(\text{イ}, \text{ウ}) = (2, 5), (3, 4), (4, 3), (5, 2)$ の4通り。
 イ = 1 のとき、ア + ウ = 7 となる組み合わせも同様に4通り。
 ア、イに1を使わないとき、 $2 \times 3 + 1, 3 \times 2 + 1$ の2通り。
 すべてあわせて、 $4 \times 2 + 2 = \underline{10}$ (通り)

2

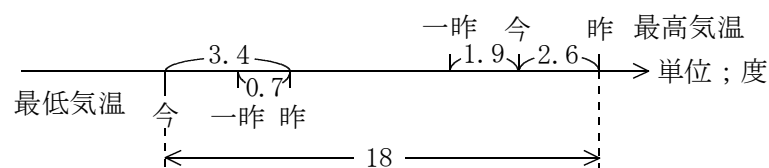
- (1) $59 \div 6 = 9$ あまり 5 より、 $【59, 6】 = \underline{5}$
- (2) A は 7 でわっても 9 でわってもわり切れる。
 9 でわり切れる 2 けたの数について、7 でわったときのあまりを調べる。

	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99
$\div 7$ のあまり	4	6	1	3	5	0	2	4	6	1

 よって $\underline{63}$ 。
- (3) $21 \div B = \square$ あまり 6 $21 - 6 = 15$ より、 $15 \div B = \square$
 15 をちょうどわり切る整数は 1, 3, 5, 15 の4つあるが、あまりの 6 より大きい数は $\underline{15}$ のみである。
 実際に、 $21 \div 15 = 1$ あまり 6 となる。

3

数直線にまとめると分かりやすい。

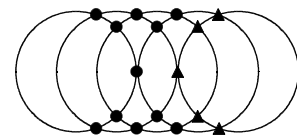


- (1) $2.6 + 1.9 = \underline{4.5} \text{ (度)}$
- (2) $3.4 - 0.7 = \underline{2.7} \text{ (度)}$

- (3) $18 - 4.5 - 2.7 = \underline{10.8} \text{ (度)}$

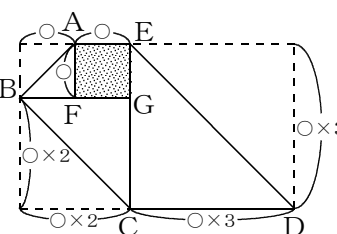
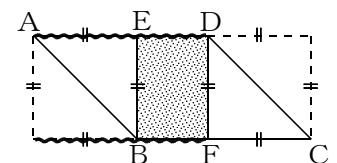
4

- (1) 実際に 5 個目の円をかいてみると、新しく▲の 5 個ふえる。
- (2) (1) より、円を 1 個かくごとに点の個数は 5 個ずつふえていく。ただし、3 個目の円をかいたときに増える点の個数は 4 個なので、まとめる以下表のようになる。
- | | | | | | | |
|---|---|---|----|----|-----|----|
| 円 | 2 | 3 | 4 | 5 | ... | 10 |
| 点 | 2 | 6 | 11 | 16 | ... | ? |
- $10 - 3 = 7$
 $6 + 5 \times 7 = \underline{41} \text{ (個)}$
- (3) 点の個数の一の位は 1 と 6 をくり返すので、はじめて 100 個を超えるのは 101 個のとき。
 $101 - 6 = 95 \text{ (個)}$ ふえる。
 $95 \div 5 = 19 \rightarrow 3 + 19 = \underline{22} \text{ (個)}$

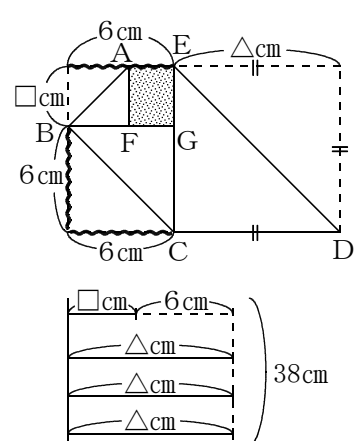


5

- (1) 直角二等辺三角形とおり返し
 の性質から、記号を入れた辺は同じ長さ。よって、あみ目部分のまわりの長さは、波線部分 2 か所の長さの合計と同じ。
 $24 + \text{たて} \times 4 = 68 \text{ (cm)}$ より、たての長さは、
 $(68 - 24) \div 4 = \underline{11} \text{ (cm)}$
- (2) 正方形 A F G E の 1 辺を $\bigcirc \text{ cm}$ とすると、右の図のように長さを書きこんでいくことができ、 $GB = GC = \bigcirc \times 2 \text{ (cm)}$ 、 $CD = CE = \bigcirc \times 3 \text{ (cm)}$ となる。
 もとの長方形の横の長さは、 $\bigcirc \times (3 + 2) = \bigcirc \times 5 \text{ (cm)}$
 $96 \div 2 = 48 \text{ (cm)}$... たて + 横
 $\bigcirc \times (3 + 5) = \bigcirc \times 8 = 48 \text{ (cm)}$ より、
 $\bigcirc = 48 \div 8 = 6 \text{ (cm)}$ $6 \times 5 = \underline{30} \text{ (cm)}$... 横の長さ



- (3) $12 \div 2 = 6 \text{ (cm)}$... 波線部分まわりの長さの残りは、
 $56 - 6 \times 3 = 38 \text{ (cm)}$
 右の図のように辺の長さを $\square \text{ cm}$, $\triangle \text{ cm}$ とすると、2 つの辺の長さの関係は右下の線分図のようになる。
 $(38 + 6) \div 4 = 11 \text{ (cm)}$... $\triangle$
 $11 + 6 = \underline{17} \text{ (cm)}$... 横の長さ



配点：各 4 点 $\times$ 2 5
 100 完答